

2 計画と実績

1. 2005年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題に対して、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

■2005年度EMS目標の取り組み結果

計 画			結 果	備 考
項 目	目 標 値	実 施 方 法		
事務所内電力 使用量の削減	1999年実績から 16%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃, 暖房19℃) ・不使用OA機器の電源断の実施 ・時間外の適正実施, 管理 ・空調運転停止時間の管理 ・照明スイッチ部への省エネ意識高揚標語類の設置 	1999年実績から 18%削減	目標達成
事務所活動における 紙の使用量削減	2002年実績から 4%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピーの活用 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・ミスコピー防止の徹底 ・プロジェクターの活用(会議における紙の使用量削減) 	2002年実績から 10%削減 (参考) 1999年実績から 31%削減	大幅に 目標達成
環境にやさしい行動 の積極的推進	26点/人 (環境活動をポイント化 : 16頁参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい行動の実施(ポイント設定項目) 電力所周辺3S活動 徒歩, 自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹, 清掃等環境活動への参加 	42点/人	大幅に 目標達成
溢水電力※の低減	溢水電力量 3%削減 (計画時との比較)	<ul style="list-style-type: none"> ・停止計画時の合理的な調整 ・作業計画時間の厳守 ・適正な停止操作の開始 	溢水電力量 0.2%増加	目標未達
オール電化 普及促進	132ポイント (IHクッキングヒータ, 電気温水器の設置数を ポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> ・親戚・友人・知人への勧誘活動 ・取引先への勧誘活動 ・オール電化展示即売会への参加 ・各種イベント時におけるPR活動 ・訪問PR活動 	154ポイント	目標達成

なお、「社用車の燃費向上」「一般廃棄物のリサイクル」など活動が定着したものについては、特に目標値は定めず、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

※事故や作業などにより発電機を停止した場合、発電可能な水が河川にあるにもかかわらず、発電に使用されない(資源を有効に利用しない)ことになります。このとき使用されなかった水量を溢水(いっすい)といい、その溢水に相当する仮の発電電力を溢水電力といいます。